

令和6年度第4回富谷市地域公共交通活性化協議会 会議録

開催月日	令和7年3月11日（火）							
開催時刻	16時00分			閉会時刻	16時46分			
開催場所	富谷市役所3階 305会議室							
議 事	(1)「富谷市地域公共交通計画（案）」について (2)「富谷市都市・地域総合戦略（基本計画）」の進捗状況について							
出席の状況（○出席者・×欠席者）								
1	若生 裕俊	○	2	徳永 幸之	○	3	関澤 京子	○
4	吉田 敬	○	5	関 剛史	○	6	佐藤 雅之	○
7	佐藤 桂	○	8	西川 和宏	×	9	遠藤 秀一	○
10	鈴木 俊介	○	11	多田 康則	○	12	中村 信男	○
13	菅原 順子	○	14	門間 とも子	○	15	郷古 直子	○
16	増田 恵美子	○	17	大泉 加津江	○	18	岡崎 ミチ子	○
19	戸根 美津子	○	20	武藤 裕子	○	21	星 貴美子	○
22	高橋 幸恵	×	オブザーバー	齊藤 良太	○	オブザーバー	会津 聡人	○
【代理出席の状況】								
株式会社1038 代表取締役 会津 聡人 ⇒ マネージャー 秋澤 敬子 ※オブザーバー								
【傍聴者】4名								

議 事 内 容	
1. 開会	(16:00)
2. 市長あいさつ	(16:01~16:09)
3. 議事	(16:10~16:43) 議長：徳永副会長
(1)「富谷市地域公共交通計画（案）」について	
[事務局から説明]	
○質疑応答（別紙のとおり）	
(2)「富谷市都市・地域総合戦略（基本計画）」の進捗状況について	
[事務局から説明]	
○質疑応答（別紙のとおり）	
4. その他	(16:44~16:46)
○計画書の送付・次年度の協議会の開催について	
[事務局から説明]	
○令和6年度富谷市地域公共交通活性化協議会について	
[市長からあいさつ]	
5. 閉会	(16:46)

記録：企画政策課交通政策推進室

## 令和6年度第4回富谷市地域公共交通活性化協議会

日時：令和7年3月11日（火）16:00～16:46

## ■ 質疑応答

委員等名	内容（要約）
(1)「富谷市地域交公共交通計画（案）」について	
徳永副会長	施策①の新たな基幹公共交通の整備の記載内容について、基幹公共交通の導入の検討のみでアクセス性が向上するようにも読み取れる。導入の検討のみではなく既存の路線バスも含めてアクセス性の向上に関する記載をもう少し整理したほうがいいと思う。また新たな軸となる基幹公共交通の整備に関して、周辺自治体や県などと連携しながら取り組んでいくという記載を加えたほうがいいと思う。
事務局	ご指摘のとおり新たな基幹公共交通の整備については、地下鉄やBRT、都市型自走式ロープウェイなどの新たな基幹公共交通の整備のみではなく、民間路線バスも軸としての役割を担っていただくことになるため、表現を修正したい。また国や県、周辺自治体との連携についても記載がない状況であるため追加したい。
郷古委員	現在は、富谷市単独で動いているように受け取られる場合が多いと思うが、単独では実現は難しいと思うため、表現を工夫する必要があると思う。
徳永副会長	どのような公共交通システムの可能性があるのかという部分に意識が集中してしまうが、実現に向けては連携が重要であるため、そのような記載も必要かと思う。計画の文言については、事務局と一緒に検討して修正し、委員の皆さまには後日送付してご確認いただくということとする。
(2)「富谷市都市・地域総合戦略（基本計画）」の進捗状況について	
中村委員	高齢化に伴いタクシーの利用者で車椅子の方がいらっしゃるが、タクシーの運転手も高齢化しており対応が難しい状況である。デマンド型交通が車椅子にも対応することができればいいと思う。
事務局	高齢化が進む中で車椅子の方の移動手段の確保も重要な課題であると考えている。現在のデマンド型交通の車両では、車椅子ごと乗車することができない状況である。福祉車両の導入については、今後の検討課題であると考えている。
徳永副会長	車椅子の方の移動手段の確保について、デマンド型交通で対応するのか福祉有償運送で対応するのかということも考える必要がある。福祉部門と連携して検討していただければと思う。
若生会長	昨年、富谷塾の塾生が起業して福祉タクシーの認可をとっており、福祉タクシーの需要は高まっているとの報告を受けている。個人事業主でもそのような方々が増えていけば今後大きな力になるのではないかと考えている。
徳永副会長	福祉タクシーや福祉有償運送でも単独での移動となるためコストが高くなるという問題がある。場合によっては、複数の車椅子を積み込めるような車両の開発なども将来的には考えていく必要があると思う。これは全国的に取り組む課題であると思うが、地域にそのような要望があるということを国土交通省や自動車業界に伝えていくことで、そのような車両の開発などが進んでいくと良いと思う。